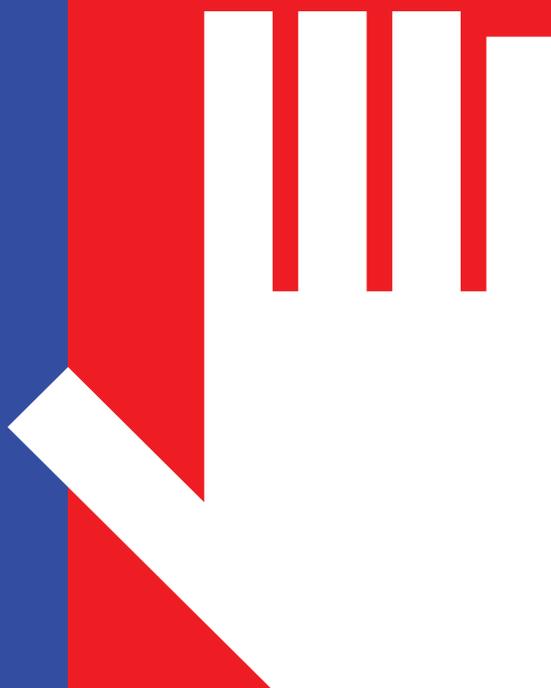


タッチ・ザ・アート！

～ 触れて体感、アートの感触

# Touch the Art!



2011.10.15 sat. - 11.6 sun.

9:30-17:00 (入館は 16:30 まで)

入場無料

※ 休館日：10月24日(月)

会場

青森県立美術館 B1F ワークショップエリア

主催

青森県(障害者アート特別啓発事業)

協力

青森大学ソフトウェア情報学部、

津軽金山焼窯業協同組合、

科学研究費プロジェクト「誰もが楽しめる博物館を創造する実践的研究」

青森県文化財保護課、青森県埋蔵文化財調査センター、

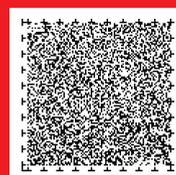
青森県立郷土館、青森県立盲学校

お問い合わせ 青森県立美術館

〒038-0021 青森市安田字近野 185

Tel 017 783 3000 [www.aomori-museum.jp](http://www.aomori-museum.jp)

青森県立美術館



# タッチ・ザ・アート！

## ～ 触れて体感、アートの感触

三内丸山遺跡に隣接する青森県立美術館は、縄文という創造の原点とともに、現代の芸術表現を見つめることのできる場所にあります。

タッチ・ザ・アート展は、「手のわざ」によって作られた、触覚的な造形性を持つ縄文の土器や土偶と、現代の彫刻という2つの時代の多彩な作品を、ただ見るだけでなく、実際に触れることで、その魅力が味わえる展覧会です。

視覚、触覚、聴覚など、様々な感覚を使って作品を楽しんでみませんか。

### 1 生命に触れる — 人と動物の表現 —

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館が所蔵する人や動物をモチーフにした彫刻作品を、見て、触れて楽しめます。

### 2 質感に触れる — 縄文の装飾と彫刻の質感 —

彫刻家・寺田栄の作品と縄文土器、それぞれの「表面」の質感を体感できます。



### 3 音に触れる — 原初の響きとその形 —

金沢健一の鉄の彫刻〈音のかけら〉に触れて、形に宿る音の響きを楽しめます。



金沢健一「音のかけら」1998 鉄 作家蔵

## 関連展示

### 1 情報技術を活用した触れる絵画の研究

視覚障害者が美術作品の鑑賞を体験できることを目的に開発された「触れる絵画」の研究事例を紹介します。

### 2 誰もが楽しめる博物館を創造する実践的研究

科学研究費プロジェクト「誰もが楽しめる博物館を創造する実践的研究」の研究内容や、その一環として三内丸山遺跡で行われたワークショップの成果作品を紹介します。

### 3 縄文アート制作ワークショップ作品展示

8/21に行われたワークショップで、津軽金山焼作家と視覚障害者を含む50名の参加者が縄文をテーマに制作した共同作品を紹介します。

## 関連イベント

### 要申込(一ヶ月前より電話にて受付) 参加料:3000円(材料費)

日時:10/15(土) 10:00~11:00、14:00~15:00

講師:金沢 健一(彫刻家)



### 要申込(一ヶ月前より電話にて受付) 参加料:3000円(材料費)

金沢健一ワークショップ:「音のかけらをつくる」

鉄を溶断して〈音のかけら〉のミニチュア版を作りましょう。

日時:10/16(日) 10:00~16:00

講師:金沢 健一(彫刻家)

対象:小学3年生~大人 10名



### 要申込(一ヶ月前より電話にて受付) 参加料:常設展観覧料

日時:10/15(土) 11:00~12:00

講師:寺田 栄(彫刻家)

### タッチ&トーク:棟方志功の板画表現に触れる

棟方志功作品をもとに作成した「触れる絵画」を用いた美術鑑賞プログラム。視覚に障害のある方を主な対象として実施します。

日時:①10/17(月)、②10/20(木)、③10/31(月)、④11/3(木・祝)

各回 14:00~15:30

対象:一般 各回 10名

協力:青森大学ソフトウェア情報学部

### 要申込(一ヶ月前より電話にて受付) 参加料:常設展観覧料

フライデー・アートナイト:縄文/創造の原点から

閉館後の美術館で、学芸員の案内のもと、ゆっくりと鑑賞をお楽しみいただけます。

日時:10/21(金) 18:00~19:30

講師:池田 亨(青森県立美術館 学芸主幹)

対象:一般 20名



### 要申込(一ヶ月前より電話にて受付)

青森県立郷土館 移動博物館:体感!共感!表現者としての縄文人

縄文土器に触れたり、文様づくりを体験したりすることをおして縄文人の造形表現の魅力に迫ります。

日時:10月23日(日) 11:00~12:00

講師:豊田 雅彦(青森県立郷土館主任研究主査)、

伊藤 由美子(青森県立郷土館学芸主査)、佐藤 琢(青森県立郷土館研究主査)

対象:一般 20名

※すべてのプログラムは視覚に障害のある方も参加できます。

※要申込の表記がないものは、申込不要。当日直接時間までにお越し下さい。

※参加料の表記がないものは、無料となります。



木内克「ハンザイ・ビル」1961、ブロンズ 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館蔵



寺田 栄「土器のつぼみ」2006 白磁焼 作家蔵